

2026年2月10日
商工中金

**動作を電力アシストする義足をグローバルに展開するスタートアップ
BionicM 株式会社を金融面からサポート**

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕 以下商工中金）のスタートアップ営業部は、BionicM 株式会社（本社：東京都文京区、代表者：孫 小軍）に対し、事業拡大に必要な資金として、2億円の融資枠を開設しました。

同社は、装着者の動作を動力アシストする義足、パワード義足「BioLeg」を開発した東京大学発のスタートアップ企業です。モーターやセンサーを搭載することで、より自然な歩行や身体的な負担を軽減し、長時間の移動を可能にする独自技術を強みとしています。

今回同社は、調達する資金を活用し、パワード義足の開発強化や量産体制の構築を進めることで、さらなる事業成長を目指します。

商工中金は、経営者や関係機関へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を実施し、同社の強みや課題を共有。同社の取組みが、誰もが快適に生活できる環境づくりにつながるものと考え、本融資契約を締結しました。なお、本件は「経営者保証に関するガイドライン」に則り、無保証としています。

商工中金は、革新的な製品・サービスにより社会課題を解決しようとするスタートアップ企業の皆さまのサポートを通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【 BionicM（バイオニックエム）株式会社の概要】

所在地	東京都文京区本郷7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ203室
代表者	孫 小軍
資本金	7億0,158万円（資本準備金含む）
設立	2018年12月
業種	ロボットと人間を融合するモビリティデバイスの研究開発・事業化



【パワード義足「BioLeg」】